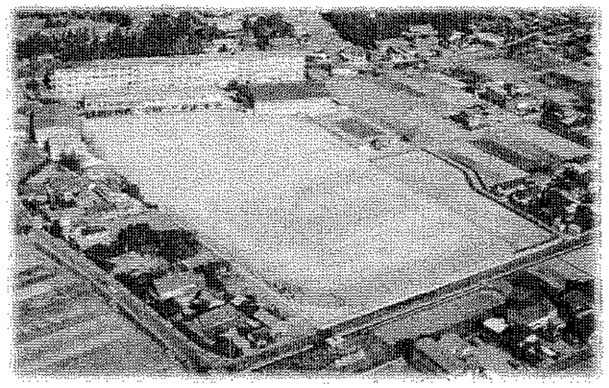
祝　創立50周年　岐山高等学校



「創立50周年に寄せて」

同窓会長　千賀英治

高等学校では珍しい理数科系の岐阜県立岐山高等学校が創立されて50年が過ぎました。この間、日本を始めとして世界の経済環境は想像できなかった変化、発展をしてきました。生徒数202名での開校で、当初は教室もなく、入学式を梅林小学校講堂で終えたあと梅林中学校の仮校舎での授業開始、4年後に校歌が作成されるまでは交友歌がその代わりをしていたと先輩から聞きました。

さて、この50周年記念行事を行う意義として、次の三点を掲げました。第一は「感謝」です。この長い50年間、しかも復興の時代に今日まで「躍進岐山」がここまで来られたのは、お世話になった諸先生をはじめとし、岐山高等学校に関係のある父兄や先輩の理解ある行動、ご援助の賜物と感謝をいたします。

第二に、「創立の精神の再認識」です。当時、理数科の岐山高等学校がどんな精神で何を目的として誕生したのか、その原点をよく噛み締めてみる必要があります。即ち、校歌にある「真理をもとめ希望新たに正しく進めばよろこびあふれて科学の力を信ずるものに高くひろく開ける天地よ・・」の意味を理解し、友人と共に生きる喜びを高めることを再確認し、今後に処して行く決意をするときであると思います。

そして第三に、「60周年へのスタート」です。これからの時代の変化を見極め、先に掲げた「感謝」・「創立の精神の再確認」を踏まえた上で、今、何をしなければならないかを分析し、変化に対応することが必要です。個々の力では成し得ない事が多いのです。そのための一つに、われわれの力を結集して創設する「躍進育英制度」があります。この制度により平等に学べる権利を与えられる為の学費の援助ができ、それが、将来のノーベル賞受賞者を創出となるかもしれません。未来を担う少年を育てる夢と希望に向かって同窓生が一丸となって歩もうではありませんか。

最後になりましたが、これからの岐山高等学校の繁栄と皆様のご多幸を心よりお祈り申しあげます。

「岐山高校の思い出」

7期生　山本亜土

人生には大きな転機が何度もあると思われるが、私にとって高校時代は正にそれに当たったと思っている。中学では「自由放任主義」を良いことに遊び惚けた結果、「躍進岐山」というキャッチフレーズで当時売り出し中の高校に半ば強制的に送り込まれた。この高校での日常生活は、私には中学校と違って大変に刺激的なものであった。成績順位が示される、実力テスト等は廊下に貼り出される、その上で運動にも熱心に取り組まれた記憶がある。それにも増して、先生方も多士済々で、恐ろしいスパルタ教育型から、高校教師らしからぬ（私の父も当時高校の教師であった）程の敬服に値する紳士、あるいは人間味あふれる熱血漢と、心底から教育熱心な先生方が揃っておられた。私はこうした環境の中に放り込まれて、こうした先生方から大きな影響を受けながら、中学までとは違って急速に勉強に目覚めたように思う。

こうした魅力ある先生の期待を裏切ることは心苦しく感じられ、授業での要求には100%応えようと、毎晩遅くまで必死に頑張った思いが強い。また、その努力の結果を誉められて自然と舞い上がり一段と熱心に突き詰めて勉強が進んだものと思う。

大学進学に際しても、これらの先生方の人間的な魅力に影響を受け、最終的に志望大学に恩師の母校を選択してしまった次第である。その結果、東京での4年間の大学生活で、学問的には満足な結果は得られなかったものの、幅広い交友を中心にして人間的、常識的な判断などの面では相当に鍛えられたと思っている。それも、あの高校3年間が基礎になって、その後の積み重ねが出来たお陰で、現在の自分があると心から皆さんに感謝を申し上げたい。岐山高50周年という節目を迎え、徐々に伝統というものは出来ているが、今後も学校の「コンセプト」を明確にして、これこそ岐山だと言った、良き伝統を確立して行くことがこの時代にこそ必要だと思う。我々の頃は「躍進岐山」といった溢れる覇気がそれであったような気がする。旧制中学から続く伝統高には独特の「校風」といったものが色濃く残っており、卒業生と在校生を繋いでいると思う。私どもの会社にも、大学を経て入社して来る優秀な岐山の後輩が次第に多くなって来た。閥を作って群れようという訳ではないが、伝統校に比べてやや欠けているものはこの辺りではないだろうかと、折に触れ思う時がある。

公立高校と言えど明確な「コンセプト」を持って広く社会に問うことが必要な時代が来ており、教職員、在校生、卒業生が一体となってこの辺りのことを考える時期ではないだろうか。遠くからであるが母校の益々の隆盛を祈っている。

～平成21年度　岐山高校同窓会～

創立50周年記念祝賀会のご案内

日　時　2009年11月7日（土）
16:30～19:30　15:30（受付開始）

場　所　岐阜グランドホテル
地下1階ロイヤルシアター

会　費　8,000円（大学生は4,000円）

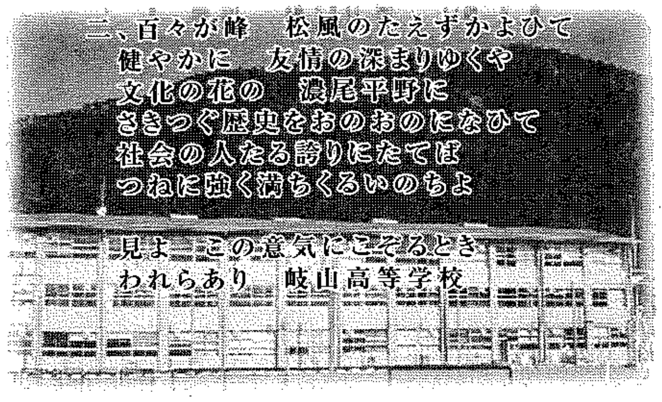
内　容
- 生徒によるアトラクション
- 総会
- 懇親会

お問い合せ先　岐山高等学校 同窓会事務局
岐阜市長良小山田2587番地1
TEL058-231-2905（代）

祝賀会当日は、同窓会奨学基金への
寄付金の受付も行っておりますので、
ご協力お願いします。

岐阜県立岐山高等学校校歌

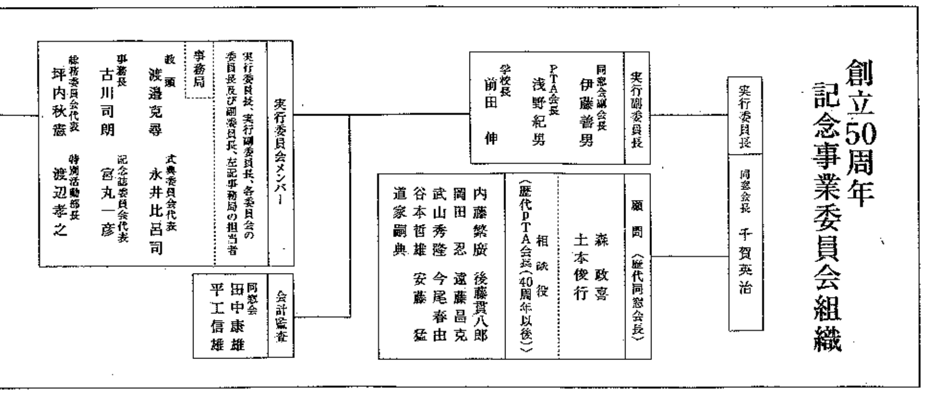
一、雲晴れて金華山　みどり明るく
波清し　長良川　かがやくところ
真理をもとめ　希望新たに
正しく進めば　よろこびあふれて
科学の力を信ずるものに
高く　ひろく　開ける天地よ



二、百々が峰　松風のたえずかよひて
健やかに　友情の深まりゆくや
文化の花の　濃尾平野に
さきつぐ歴史をおのおのになひて
社会の人たる誇りにたてば
つねに強く満ちくるいのちよ

見よ　この意気にこぞるとき
われらあり　岐山高等学校

創立50周年記念事業委員会組織



実行委員長
同窓会長　千賀英治

実行副委員長
同窓会副会長　伊藤善男
PTA会長　浅野紀男
学校長　前田伸

顧問（歴代同窓会長）
森政喜
土本俊行

相談役（歴代PTA会長（40周年以後））
内藤繁廣　後藤貫八郎
岡田忍　遠藤昌克
武山秀隆　今尾春由
谷本哲雄　安藤猛
道家嗣典

実行委員会メンバー
実行委員長、実行副委員長、各委員会の委員長及び副委員長、左記事務局の担当者

事務局
教頭　渡邉克尋
事務長　古川司朗
総務委員会代表　坪内秋悳
式典委員会代表　永井比呂司
記念誌委員会代表　宮丸一彦
特別活動部長　渡辺孝之

会計監査
同窓会　田中康雄
平工信雄

	委員長	副委員長			委員		
		同窓会	PTA	職員	同窓会	PTA	職員
総務委員会	同窓会副会長 若井悟	同窓会副会長 伊藤善男	PTA副会長 若井悟	坪内秋悳	同窓会常任理事 中島清逸	PTA庶務 須貝恵子	渉外部 村橋郁代 特別活動部 森田由美 教務部 田中晴美 同窓会 錦見喜朗
式典委員会	同窓会副会長 藤田宜良	同窓会副会長 辻雅文	PTA副会長 安藤達也	永井比呂司	同窓会常任理事 道家嗣典 二村正希	PTA会計 濱渡美鈴	総務部 郡美穂 松原良明 小島美智子 特別活動部 千村寿人 北川裕子 生活支援部 長谷川哲也 同窓会 瀬口芳彦 小野美喜雄
記念誌委員会	同窓会副会長 島野義之	同窓会会計監査 長谷川彰	PTA副会長 村瀬喜俊	宮丸一彦	同窓会常任理事 土屋誠次 毛利忠秀	PTA会計 山本信生	図書部 沼波政信 伏屋明美 教務部 永井政義 同窓会 鈴木昇 林充宏 原啓良 筒井佳代